



令和元年度 第8回 「地域フォーラム」

# 東吉野村の発展ビジョン



東吉野村 村長 水本実

笑顔あふれる、木と水のふるさと

**東吉野村の人口**

昭和35年

9, 221人

令和元年(10月)

1, 731人(住基人口)

**高齢化率**

56%

## ◎ 『東吉野村第3次基本構想』（平成23～32年度）

### 1 村づくりの基本理念

- 夢と希望のもてる村づくり
- 安全安心に暮らせる村づくり
- 環境にやさしい村づくり

### 2 東吉野村の将来像

『笑顔あふれる、木と水のふるさと』

### 3 施策の大綱

- ①活力とにぎわいのある村づくり
- ②子どもの笑顔と学びのある村づくり
- ③生涯健康で安心な村づくり
- ④環境にやさしい安全な村づくり
- ⑤住民みんなの村づくり

# ◎ 『東吉野村まち・ひと・しごと総合戦略』（平成27～31年度）

## 1 めざす将来像

『笑顔あふれる、木と水のふるさと』

## 2 基本目標

- I 生活を支える雇用を創出する
- II 移住・交流を促進し、新しい人の流れをつくる
- III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- IV 時代にあった地域をつくり、互いに支えあう暮らしやすい村をつくる



# I 生活を支える雇用を創出する

## 小さな道の駅「ひよしのさとマルシェ」



特産品の製造、加工、販売、観光案内と住民の地域コミュニティ機能を併せもつ拠点、小さな道の駅「ひよしのさとマルシェ」を整備

新たな地域特産品として柚子栽培を促進するとともに、これを活用した新商品の開発をおこない「柚子の里づくり」を推進しています。

「柚子の里づくり」の推進  
柚子を使った新商品開発





# 各種イベントでの特産品PR販売





新しい働き方、新しい「しごと」をつくる

クリエイティブヴィレッジ構想の推進

オフィス  
キャンプ  
東吉野



自然豊かな村で暮らしながら働く





## Ⅱ 移住・交流を促進し、新しい人の流れをつくる

### 移住・定住

小川のまちづくりの取り組みのイメージ  
「オフィスキャンプ東吉野」を活用した移住者と住民との交流、連携事業の展開

「奈良県と東吉野村とのまちづくりに関する」

○包括協定を締結 (平成29年3月14日)

○基本協定締結 (平成31年4月12日)

### 移住・交流



### 産業・雇用



### 文化・観光



小川のまちづくり ～かつての賑わいを取りもどす～





オフィスキャンプ東吉野



チャレンジショップ  
KAMEYA



ゲストハウス 小川





美しく清らかな川は、子どもたちの遊び場

投石の滝ライトアップイベント

トレイルランニング

イベント FAM



ニホンオオカミ像

天忠組シホジウム in 高知





# 若者の移住にとって大きな課題である住宅の確保への取り組み

村営住宅 1棟



## 村営住宅の新築を推進する



村営住宅「集合」  
1棟  
単身向け 2世帯  
一般向け 2世帯



古民家を活用した 移住定住促進住宅の整備



・ 移住体験住宅（シェアハウス）の整備





## 空き家バンク事業の推進

移住を希望する若者の住居を確保するため、全村的に空き家の登録を増やすとともに、空き家改修助成制度や、移住希望者への情報提供・各種相談に応じるワンストップサービスを運用し本村への移住者の増加につなげていきます



平成25年度から令和元年度9月現在

空き家バンク総登録件数

46件

うち契約済み件数

24件

# Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

子育てサロン ぴよぴよサークル



子どもの笑顔は  
村の宝！！

乳幼児健診

子供たちが元気に  
育ちますように





# この村で学んでよかったと思える教育の充実

東吉野小学校でのICTを活用した連携教育と交流授業



## 東吉野村こども園を開園



中学生の学力向上の取り組みとして、夏休み期間中に大学生を講師として招聘して夏期集中講義を実施





# IV 時代にあった地域をつくり、互いに支えあう暮らしやすい村をつくる

## “世代交流かふえ”

顔なじみや顔の見える関係で  
互助の作用で地域を活性化

健康と生きがいを見つけら  
れる場所づくり

地域間の  
交流促進





村民の買い物や通院の手段として、コミュニティバス「ふるさと号」の運行及び  
奈良交通路線バスの維持充実





笑顔あふれる、  
木と水のふるさと

奈良県

東吉野村







ご清聴ありがとうございました。